

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	「拘束をしない」という基本的な考えの理解はできているが、周知徹底をする以外に勉強会での事例検討などを行いながら、職員の理解を深める必要がある。	身体拘束に関する事例検討会を行い、身体拘束について理解を深める	定期的な勉強会の内容の改善を行い、事例検討を入れることで、職員の拘束に対する理解を深めていく。	5ヶ月
2	26	計画作成担当者主導のケアプラン作成が主な動きになっている中で、利用者・職員・家族を含めた介護計画作成が必要になっている。	ケアカンファレンスの実施と利用者・家族・施設の意見交換を行うことで、充実した介護計画を作成できるようになる	コロナ禍に配慮しながら、施設でのカンファレンスの開催を行い、情報共有を図りながら、利用者に合わせた介護計画の作成を行っていく。	6ヶ月
3	49	コロナ禍における感染対策により、外出機会が減っている状況にある。気分転換になるような施設内外の活動が必要になっている。	感染対策や情勢に合わせた施設での個別ケアの実践をする。	個々にあるニーズに合わせ、感染症対策を徹底しながら活動的な支援を行っていく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。